



「オオキンケイギク」を防除しよう!!



【オオキンケイギク】

5月から7月にかけて、鮮やかな黄色の花をつけたオオキンケイギク(大金鶏菊)を、県内の道路や河川敷などでよく見かけます。

群生しているときれいな花ですが、その繁殖力は強く、在来の植物を駆逐するなど、日本固有の自然に重大な影響を及ぼすおそれがある植物として、外来生物法(特定外来生物による生態系等にかかる被害の防止に関する法律)により「特定外来生物」に指定され、栽培、運搬、販売や、野外に植えたり、種子をまいたりすることが禁止されています。

学名: *Coreopsis lanceolata*

原産: 北アメリカ

特徴: キク科の多年生草本。

高さ 30~70 cm程度。

葉は、茎の下に着き、両面に粗い毛がある。花期は5月~7月頃。

直径 5~7 cmの橙黄色の頭状花を付ける。



【処理するときの注意】

- ☆ 生きたままの根と種子を移動させることは、外来生物法で禁止されています。
- ☆ 違反した場合は、個人の場合、懲役1年以下もしくは100万円以下の罰金が、課せられます。
- ☆ 実をつける前に、根ごと抜き取ることが効果的です。
- ☆ 刈り取りも一定の効果があります。
- ☆ 根ごと抜き取ったり刈り取ったりした場合は、移動させずにその場でビニール袋などに密閉し、2~3日天日にさらすなど枯死させた後、燃えるゴミとして、お住まいの市町のゴミ出しルールに従って、速やかに処分してください。
- ☆ 野外での焼却は、法律により原則禁止されていますのでご注意ください。

【お問い合わせ先】

環境省 中国四国地方環境事務所 野生生物課

TEL: (086) 223-1561 FAX: (086) 224-2081

香川県 環境森林部 みどり保全課

TEL: (087) 832-3227 FAX: (087) 806-0225

e-mail midorihozen@pref.kagawa.lg.jp